

学生の確保の見通し等を記載した書類目次

① 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	
1. 学生確保の見通し	1
(1) 定員充足の見込み	1
(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	1
a) 全国における大学院進学者の状況	1
b) 他大学の医学研究科修士課程の設置状況	1
c) 学生確保のアンケート調査結果の分析	2
d) 在学生に対するアンケート調査結果の分析	2
e) 本学附属医療機関の医療従事者に対するアンケート調査結果の分析	2
f) アンケート調査結果の総括	3
(3) 学納金の設定の考え方	3
2. 学生確保に向けた具体的な取組状況	3
② 人材需要の動向等社会の要請	
1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	4
2. 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を 踏まえたものであることの客観的な根拠	4
(1) 健康・医療分野の国内外の動向	4
(2) 企業と医療機関への採用意向アンケート調査結果の分析	5
出典	6

① 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

1. 学生確保の見通し

(1) 定員充足の見込み

関西医科大学（以下、「本学」という）医学研究科修士課程は、基礎医学の知識と技術の涵養を図り、今後必要とされる医療分野のゲノム医科学や介護医療分野における医用工学技術の利用について幅広く教授し、医学の素養のある人材、高度専門職業人、及び研究者を志す学生を育成する。本課程では教育の質を高く保つために、少人数制の授業を採用して、きめ細やかな科目教育と研究指導を行う。本課程の入学定員は、本学の指導體制と施設面等の環境を総合的に判断し 8 名とした。入学定員の充足見込みを検証するにあたり、文部科学省の「学校基本調査」、各大学の公開情報、および本学が実施したアンケート調査の結果について分析した。四年制大学、医療系専門学校の在学学生および本学附属医療機関の医療従事者を対象に行ったアンケート調査では、合計 20 人が本課程を志願する可能性が高いことがわかった。以上の分析から、本課程の定員は十分に満たされるという結論に至った。

(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

a) 全国における大学院進学者の状況【資料 1・2】

文部科学省「学校基本調査」によると、大学を卒業した学生の出身学部別の大学院への進学率は、平成 27 年度から令和元年度の 5 年間に於いて全関係学部の平均が 11% であるのに対し、理学、工学、農学の関係学科を卒業した学生の大学院進学率はそれぞれ 42%、36%、23% と高い【資料 1】。また、同調査によると、平成 27 年度から令和元年度の 5 年間に於ける国内の保健系分野の大学院医学系修士課程（博士前期課程）への志願者の総数は、毎年約 1,000 人と安定している【資料 2】。これら数値を踏まえると、本学の修士課程を志願する学生は、理学、工学、農学部を中心とした理系学部の出身者であると想定しているため、志願者は毎年安定して存在すると考えられる。

b) 他大学の医学研究科修士課程の設置状況【資料 3】

本学は京阪電鉄枚方市駅周辺にあり、京阪神の中心部からは公共交通機関を利用すれば 1 時間以内で通学が可能である。本学の周辺地域には大学院医学研究科に修士課程を設置する 7 つの国公立大学（京都大学、大阪大学、神戸大学、京都府立医科大学、大阪市立大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学）があるが、定員は概ね満たされている【資料 3】。

一方、同地域の医学研究科を設置する私立大学では、令和 2 年度に大阪医科大学大学院医学研究科に修士課程が設置されるが、他の 2 大学（兵庫医科大学、近畿大学）では開設されていない。大阪医科大学の入学定員は 4 名と少数であり、かつ本学医学研究科修士課程には、ゲノム医科学や生活支援における医用工学技術の利用等を学べる特色ある研究分野を設けている。本学周辺地域には、同様の研究分野を有する医学研究科修士課程

は未設置であるため、進学目的が合致する志願者は本学を選択する可能性がある。

c) 学生確保のアンケート調査結果の分析【資料4～11】

本学医学研究科修士課程への入学意向の需要を把握するため、本学独自に以下のようにアンケート調査を行った。アンケート調査の対象者は、本課程への進学が予想される四年制大学(37校)の理学、工学、理工学、農学、食品・栄養学、保健学部にも所属する2019年4月時点の3回生と医療系専門学校(32校)の1回生の学生、及び本学附属医療機関(4病院、1クリニック)に勤務している医療従事者である。アンケート調査の有効回答数は、四年制大学の3回生と医療系専門学校の1回生が合計385件、医療従事者が130件であった。

d) 在学生に対するアンケート調査結果の分析【資料4～6】

在学中の学生に対して、大学院に進学する意向があるかを質問したところ、“進学したい”25人(6%)、“将来進学を考えている”14人(4%)、“条件が整えば進学したい”64人(17%)で、大学院への進学を前向きに考えている人が合計で103人(27%)存在した【資料5-問3】。この大学院への進学志望率27%は、前述した「学校基本調査」の理学、工学、農学の関係学部を卒業した学生の進学率(それぞれ42%、36%、23%)に近い、高い水準であった。大学院への進学に前向きな学生103人に対して、本学医学研究科修士課程への入学を希望するかについて質問したところ、“はい”と答えた人は51人、“いいえ”は52人であった【資料5-問5】。この“はい”と答えた51人のうち、問3で大学院へ“進学したい”と答えた人は10人で、彼らは本学医学研究科修士課程への進学を前向きに検討する可能性が高いと考える。また、大学院への進学には前向きであるが、本学への入学を希望しない人(52人)に対して、理由を尋ねたところ、31%(16人)の人が“医学研究科修士課程についてのもっと詳しい情報を得たうえで検討したいから”と回答した【資料5-問7下段】。この結果は、本学医学研究科修士課程の広報活動を今後積極的に行うことによって、志願者が増える可能性があることを示唆している。

e) 本学附属医療機関の医療従事者に対するアンケート調査結果の分析【資料7～10】

本学附属病院は、北河内(大阪府)、山城北・山城南(京都府)、奈良保健・西和保健(奈良県)の医療圏における唯一の特定機能病院で、高度の医療技術の開発・研修および先端医療の提供を行っている【資料7】。このように、進化し続ける先端医療の現場に勤務する医療従事者の中には、より高度な知識と技術を修得する目的で、本課程への進学を希望する者が一定数存在すると考えることができる。そこで、本学の附属医療機関に勤務する医療従事者に対して、上述の学生向けのアンケートと同様の内容で調査を行った(有効回答数130)。

その結果、大学院に進学する意向があるかの質問に対して、“進学したい”11人(9%)、“将来進学を考えている”5人(4%)、“条件が整えば進学したい”22人(18%)で、大

学院への進学を前向きに考えている人が合計 38 人 (31%) 存在した【資料 9-問 3】。本学附属病院の医療従事者の中にも、大学院への進学を前向きに考えている人が在学学生へのアンケート結果に並ぶ高い率で存在することがわかった。この大学院への進学に前向きな 38 人に対して、本学医学研究科修士課程への入学を希望するかについて質問したところ、“はい”と答えた人は 21 人、“いいえ”は 17 人であった【資料 9-問 5】。この“はい”と答えた 21 人のうち、問 3 で大学院へ“進学したい”と答えたのは 10 人で、彼らは本学医学研究科修士課程への進学を検討する可能性が高いと考える。

医療従事者へのアンケート結果は在学学生のものと比較すると異なる特徴がある。それは、医療従事者が大学院を選択する際に、“社会人受け入れ体制”(89%)と“アクセス”(58%)を重視している点である【資料 9-問 4】。最後の自由記載欄の中でも、仕事と学業を両立できる環境づくりを求める意見が 8 件で、最も多かった(回答結果は省略)。本学では、医療従事者などの社会人が勤務時間外に講義を受講できるように昼夜開講制を採用する。また、本課程がある枚方キャンパスは、京阪神の中心地からのアクセスが良く、その上、附属病院は本学医学部棟(医学部、医学研究科)に隣接している。従って、本学と周辺地域の医療従事者にとって、本学は仕事と学業を両立しやすい大学院であると言える。そのため、より多くの本学と周辺地域の医療従事者が本課程への入学を希望する可能性があると考えられる。

f) アンケート調査結果の総括【資料 11】

上述の在学学生と本学附属医療機関の医療従事者のアンケート集計結果より、大学院への進学に前向きな回答者は合計 141 人に達し、そのうち、本学への入学意向を示したのは合計 72 人であった。この 72 人は、本学医学研究科修士課程への進学を検討する可能性がある。この 72 人のうち、問 3 で大学院へ“進学したい”と答えたのは合計 20 人で、彼らは本学医学研究科修士課程に進学する可能性が高いと考える。

以上のアンケート調査結果より、入学定員は充足する可能性が高いと見込んでいる。本課程開設についての情報を広く周知させ、昼夜開講制により社会人学生にも配慮することで、定員を安定して充足できると考える。

(3) 学納金の設定の考え方【資料 12】

本学医学研究科博士課程の学生納付金は就学者の経済的負担を考慮して、入学金 20 万円、学費 50 万円、検定料 2 万円としている。今回設置を予定している修士課程においても、就学者の経済的負担を考慮して、入学金 20 万円、学費 40 万円、検定料 2 万円とする。本学の学費は、周辺地域の国公立大学および全国の私立大学の医学研究科修士課程の学費と同程度から低額に設定されている【資料 12】。

2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学医学研究科修士課程では大学院担当の事務職員を配置し、ホームページを新たに開設

して修士課程の特色、カリキュラム構成、研究室の紹介、学費、入試情報等を広く周知する。ホームページ上には相談窓口を設けて、電話やインターネットを介して修士課程に関する相談を受けつける。また、医学研究科博士課程と同様に入試説明会を開催して、受験相談窓口を設けるほか、本学の周辺地域の大学、医療系専門学校、医療機関に本学医学研究科修士課程のリーフレットを郵送して学生募集活動を行う。

② 人材需要の動向等社会の要請

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学医学研究科修士課程の理念は、医学部医学科以外の出身者を対象に、医学に関連する生命科学の基礎並びに先端医療に関する専門教育を行うことにより、それぞれの出身領域の知識を医療の場へと結びつけることのできる、これからの研究・医療を支える人材を育成することである。具体的には、先端医科学、ゲノム医科学、医用工学の分野を設けて、ライフサイエンスの幅広い知識と医学研究の基礎的能力を涵養し、医療分野において高度専門職業人として活躍し、さらには社会に貢献できる人材を育成する。

本課程の修了生の進路は、医療機関・一般企業（医療・バイオ産業、医療機器メーカーなど）・政府官公庁などへの就職や、大学院博士課程への進学を想定している。一方、社会人の医療従事者は、修了後も現職において活躍することを考えている。

2. 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

（1）健康・医療分野の国内外の動向

今日の世界では爆発的な人口の増加により、将来の健康・医療や食料供給などに不安が高まっている。その状況を改善して持続可能な世界を目指すために、国連総会では「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」(2015)⁽¹⁾が採択された。この中では 17 の項目からなる世界共通の“持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）”が決められ、その一つに「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」という健康・医療分野の目標がある。世界各国の様々な機関はこの目標の達成に向けて取り組んでいる。本学は今年で創立 91 周年を迎え、これまでに 8 千人を超える卒業生を輩出し、教育・研究・診療の面で社会に貢献してきた。教育面では、医学部、大学院医学研究科、看護学部、大学院看護学研究科を有する医療系の複合大学となった。医療面では、4 つの附属病院と 1 つのクリニックを有し、大阪の北東部を中心とする地域の健康と医療を支えている。

SDGs 以外の国際的な動向として、2016 年の G7 首脳宣言付属文書「国際保健のための G7 伊勢志摩ビジョン」において、G7 参加国が国際的な健康・医療の発展に向けて取り組むことが宣言された⁽²⁾。日本を含むその主要国（米国、EU、英国、中国など）は、ゲノム医療、個別化・層別化医療、創薬、細胞治療・遺伝子治療、脳神経の各分野

の研究開発に最も力を注いで、官民を挙げて覇権を争っている⁽³⁾。

そのような国際的状况の中で、我が国では少子高齢化、社会保障費の増加、労働人口の減少が深刻な問題となっている。国民が健康を保ち長生きできる社会を持続させるためには、上述の先端医療の研究開発や医療機器の開発を進めることが必要である⁽⁴⁾。我が国では、特にがんゲノム医療を推進する施策を強く打ち出し、国内 11ヶ所のがんゲノム医療中核拠点病院を設置してがんゲノム医療を進めている。今後は、ゲノム医療で必要とされる“バイオインフォマティシャン”や“生物・医療統計の専門家”を育成する方針を立てている⁽⁵⁾。

生活支援・介護分野においては、介護の効率化を図るために介護機器や介護ロボットの導入が政府によって提言されている⁽⁴⁾。本学が所在する大阪府においても、介護者の労働環境の改善や質の向上を目的に福祉機器や介護ロボットの導入を促進する施策が立てられている⁽⁶⁾。

以上のように、本学医学研究科修士課程で養成する人材像及び教育研究上の目的は、国内外の状況や社会的要請を踏まえたものであると考える。

(2) 企業と医療機関への採用意向アンケート調査結果の分析【資料 13～15】

本課程の修了生の就職先として想定される医療機関や一般企業（医療・バイオ産業、医療機器メーカーなど）に対して、修士課程の修了予定者の採用意向について本学独自にアンケート調査を行った。アンケート調査は令和元年 11 月と 12 月に行い、医療・保健業 7 件、医薬品製造業 12 社、その他の製造業 8 件、その他 3 件の計 30 件の機関から回答を得た。その中で、本課程の修了生の採用意向を尋ねると「ぜひ採用したい」3 件、「採用を検討したい」23 件、「採用の可能性は低いと思われる」4 件であった。本課程の修了生を採用する可能性がある機関は合わせて 26 件になり、本学修士課程の入学定員（8 名）を上回った【資料 14—問 3】。従って、本課程の修了予定者に対するニーズは高く、就職先が十分に確保されていることが示された。

以上のことから、本課程修了生の社会的な人材需要は多いと考える。

出典

- (1)：「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」2015 年 9 月 25 日国連総会で可決
- (2)：「国際保健のための G7 伊勢志摩ビジョン」2016 年の G7 首脳宣言付属文書
- (3)：「研究開発の俯瞰報告書 ライフサイエンス・臨床医学分野（2019 年）」
国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター
- (4)：「保健医療 2035 提言書」平成 27 年 6 月、厚生労働省
- (5)：「ゲノム医療実現推進に関するアドバイザリーボード」
平成 29 年 健康・医療戦略推進本部
- (6)：「大阪府高齢者計画 2018」、大阪府

学生の確保の見通し等を記載した書類に係る資料目次

- 資料 1 大学の理系学科を卒業した学生の大学院への進学率の 5 年間の推移
- 資料 2 大学院医学系修士課程の入学志願者数と入学者数の 5 年間の推移
- 資料 3 近畿地区の医学研究科修士課程を持つ国公立大学の入学定員と充足率
- 資料 4 在学生への入学意向アンケート調査の概要
- 資料 5 在学生への入学意向アンケート調査の集計結果
- 資料 6 在学生への入学意向アンケート調査のウェブ画面
- 資料 7 本学近隣地区における特定機能病院
- 資料 8 本学附属医療機関の医療従事者への入学意向アンケート調査の概要
- 資料 9 本学附属医療機関の医療従事者への入学意向アンケート調査の集計結果
- 資料 10 本学附属医療機関の医療従事者への入学意向アンケート調査用紙
- 資料 11 在学生と医療従事者のアンケート調査〈問 5〉の合算結果
- 資料 12 他大学の医学系修士課程の学生納付金
- 資料 13 人材需要アンケート調査の概要
- 資料 14 人材需要アンケート調査の集計結果
- 資料 15 人材需要アンケート調査用紙

資料1 大学の理系学科を卒業した学生の大学院への進学率の5年間の推移

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	5年間の 平均進学率
全学科	11	11	11	11	11	11
理学	40	42	42	42	43	42
工学	36	36	37	36	36	36
農学	23	24	24	23	23	23

単位(%)

平成27年度から令和元年度の5年間における、大学の関係学科別の大学院への進学率の推移を、文部科学省「学校基本調査」のデータに基づいて作成した。大学院への進学率は、大学の関係学科の卒業生数に対する大学院等への進学者数の割合(%)から算定した。その結果、全関係学科の卒業生の大学院への平均進学率は11%であるのに対し、理学、工学、農学の関係学科を卒業した学生の大学院への平均進学率はそれぞれ42、36、23%と高くなった。本学の医学研究科修士課程の主な入学志願者は、これらの理系学部卒業者であることを想定している。

資料 2 大学院医学系修士課程の入学志願者数と入学者数の 5 年間の推移

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	5年間の平均
入学志願者	1,047	1,030	1,061	1,027	1,000	1,033
入学者数	707	708	743	720	693	714

単位(人)

平成 27 年度から令和元年度の 5 年間に於ける、大学院医学系修士課程の入学志願者数と入学者数の推移を、文部科学省「学校基本調査」のデータに基づいて作成した。それによると、入学志願者数は約 1,000 人、入学者数は約 700 人前後で安定して推移している。従って、本学の医学研究科修士課程への入学志願者数は安定して存在すると考える。

資料3 近畿地区において医学研究科修士課程を持つ国公立大学の入学定員と充足率

近畿地区において医学研究科修士(博士前期)課程を持つ国公立大学の入学定員と定員充足率

区分	所在地	大学名	研究科名	専攻名	入学定員(人)	入学者数(人)	定員充足率(%)
国立	大阪府	大阪大学	医学系研究科	医科学専攻	20	26	130
公立	大阪府	大阪市立大学	医学研究科	医科学専攻	12	26* (2学年の総数)	108
国立	京都府	京都大学	医学研究科	医科学専攻	20	20	100
公立	京都府	京都府立医科大学	医学研究科	医科学専攻	10	5	50
公立	奈良県	奈良県立医科大学	医学研究科	医科学専攻	5	7	140
公立	和歌山県	和歌山県立医科大学	医学研究科	医科学専攻	14	10	71
国立	兵庫県	神戸大学	医学研究科	バイオメディカルサイエンス専攻	25	22	88
私立	大阪府	大阪医科大学	医学研究科	医科学専攻	2	*	※令和2年4月開設

【近畿地区以外ご参考】

区分	所在地	大学名	研究科名	専攻名	入学定員(人)	入学者数(人)	備考
私立	愛知県	藤田医科大学	医学研究科	医科学専攻	5	*	※令和2年4月開設

*大阪市立大学の入学者数は2学年分の総数で、定員充足率はそれを2ヶ年の入学定員(24人)で割り算して算出した。

本学の周辺地域には医学研究科に修士課程を持つ7つの国公立大学(京都大学、大阪大学、神戸大学、京都府立医科大学、大阪市立大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学)がある。それらの国公立大学の入学定員を各大学のホームページに掲載されている公開情報から調べ、定員充足率を算出した。本学の周辺地域の医学研究科修士課程の定員は概ね満たされている。

なお、令和2年度、大阪医科大学の医学研究科に修士課程が設置されるが、入学定員は4名である。

資料 4 在学生への入学意向アンケート調査の概要

調査の目的：本調査は、関西医科大学が令和 3 年 4 月設置に向けて構想中の「大学院医学研究科修士課程（仮称）」の学生確保の見通しについて、アンケート調査を用いて測ることを目的とする。

調査期間： 令和元年 9 月～11 月

調査対象： 近畿圏の 4 年制大学（37 校）の理学、工学、理工学、農学、食品・栄養学、保健学の各学部にて在籍する現在の 3 回生と医療系専門学校（32 校）の 1 回生を調査対象とした。

調査方法： 在学生へのアンケート調査は Web アンケートシステム（東芝デジタルマーケティングイニシアティブ株式会社）を利用した。まず、対象となる大学へアンケート調査への協力を紙面で依頼した。アンケート調査への協力を許可した大学に、Web アンケートシステムの URL の QR コードを案内した。先方の大学は、QR コードを対象学部の学生に通知し、学生はその URL にアクセスしてアンケートに回答した。アンケート調査の結果は、本学の担当責任者が Web サイトからダウンロードして回収した。

調査内容： アンケート項目は全 8 問で、選択肢式 7 問、記述式 1 問とした。主な質問内容は以下の通りである。

- ・ 回答者の基本情報（最終学歴、学校の所在地）について（問 1・2）
- ・ 大学院への進学志望、志望理由、大学院の選択で重視する点
(問 3・4)
- ・ 本学医学研究科修士課程への入学意向（問 5）
- ・ 本学医学研究科修士課程を志願する理由・しない理由（問 6・7）
- ・ 意見・要望（問 8、記述式）の結果の詳細は省略。

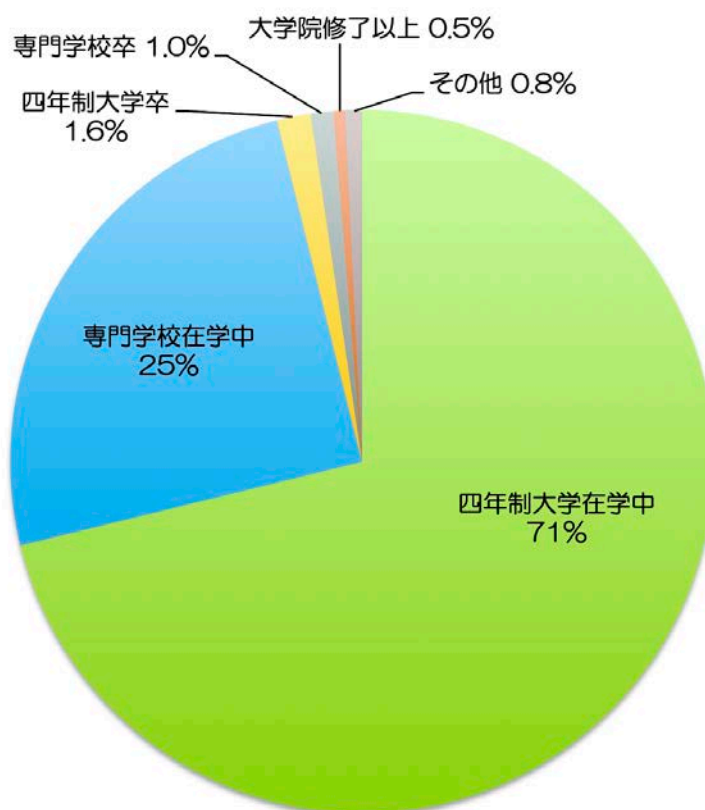
有効回答数：385 件

*本 WEB アンケート調査内容は、本学附属医療機関向けに配布したアンケート調査内容と同様である（資料 8 参照）。

資料 5 在学生への入学意向アンケート調査の集計結果

問 1 : あなたの最終学歴を教えてください。

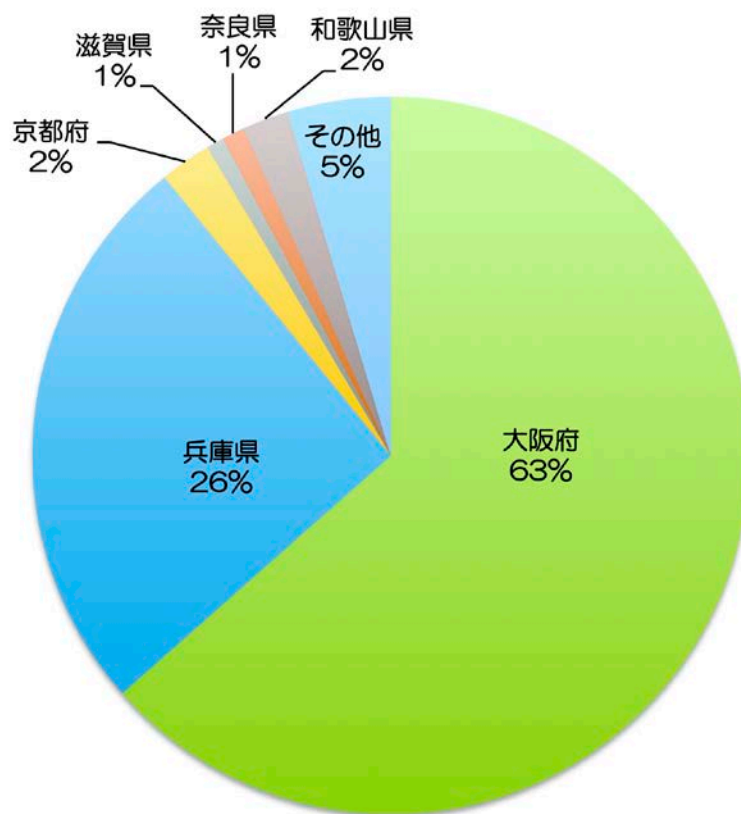
(あてはまるもの1つを選んでください。)



問 1 で、最終学歴を質問したところ、「四年制大学在学中」71%と「専門学校在学中」25%が多数を占めた。

問 2：あなたの在学中の学校（或いは出身校）の所在地を教えてください。

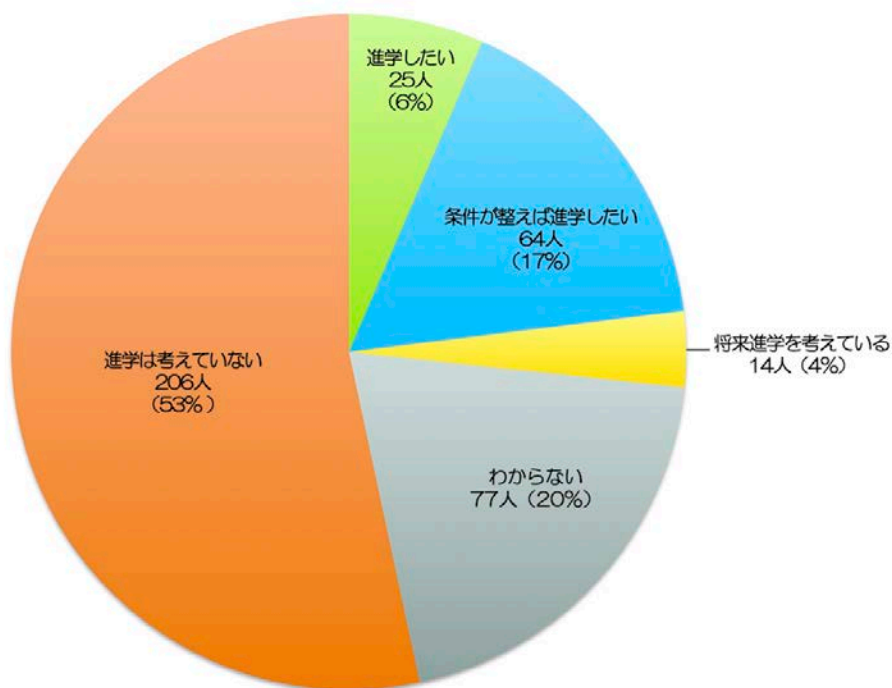
（あてはまるもの1つを選んでください。）



問 2 で、在学中（出身校）の学校の所在地を質問したところ、「大阪府」63%、「兵庫県」26%、「京都府」2%、「和歌山県」2%、「滋賀県」1%、「奈良県」1%で、本学の周辺地域に所在する学校の在学生在が多かった。

問3：あなたは大学院へ進学したいと思いますか。

(あてはまるもの1つを選んでください。)

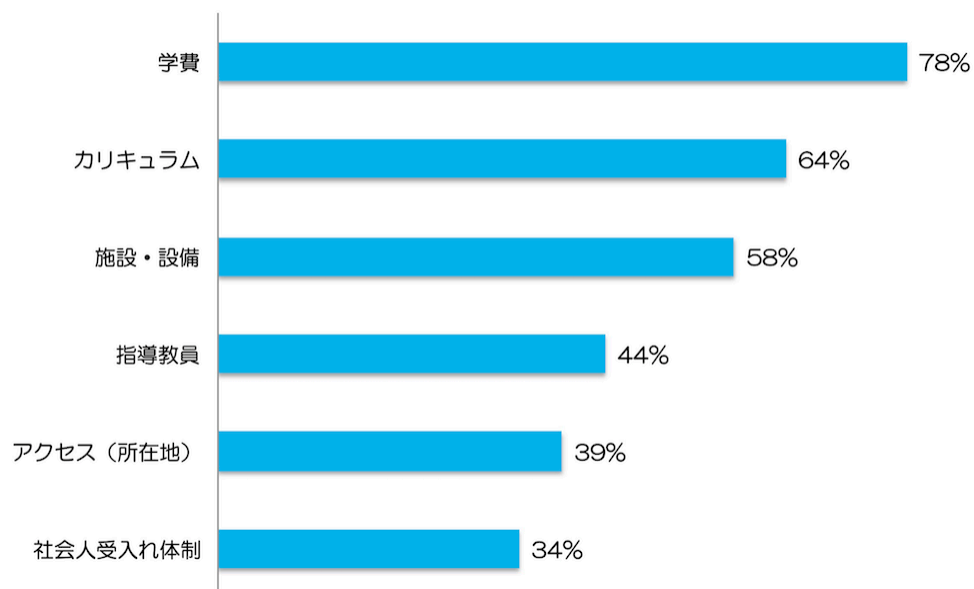


問3では大学院への進学意向について質問したところ、「進学したい」25人(6%)、「条件が整えば進学したい」64人(17%)、「将来進学を考えている」14人(4%)で、大学院への進学を前向きに考えている人が合計103人(27%)に上った。一方、「わからない」77人(20%)、「進学は考えていない」206人(53%)であった。大学院への進学を前向きに考えている学生が27%に達するという値は前述した「学校基本調査」の理学、工学、農学の学問分野における卒業生に占める進学者のものと同等の高い水準であった。回答者は卒業までにまだ1年半あるが、大学院へ進学する意向をある程度固めているために、進学希望率が進学後のものと同等の水準となったと考えられる。

問4：大学院を選択する際に重要視する点について教えてください。

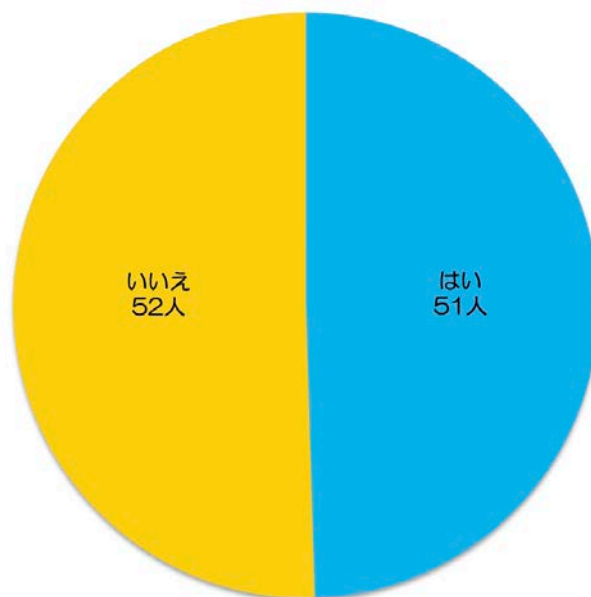
(あてはまるものすべてを選んでください。)

(有効回答数 103 人中の回答率)



問3で大学院への進学を前向きに考えている人(103人)に対して「大学院を選択する際に重要視する点について教えてください。」(問4)と質問したところ、高い順に“学費”78%、“カリキュラム”64%、“施設・設備”58%、“指導教員”44%、“アクセス”39%、“社会人受入れ体制”34%、となった。

問 5：あなたは関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）が設置された場合、進学したいと思いますか。



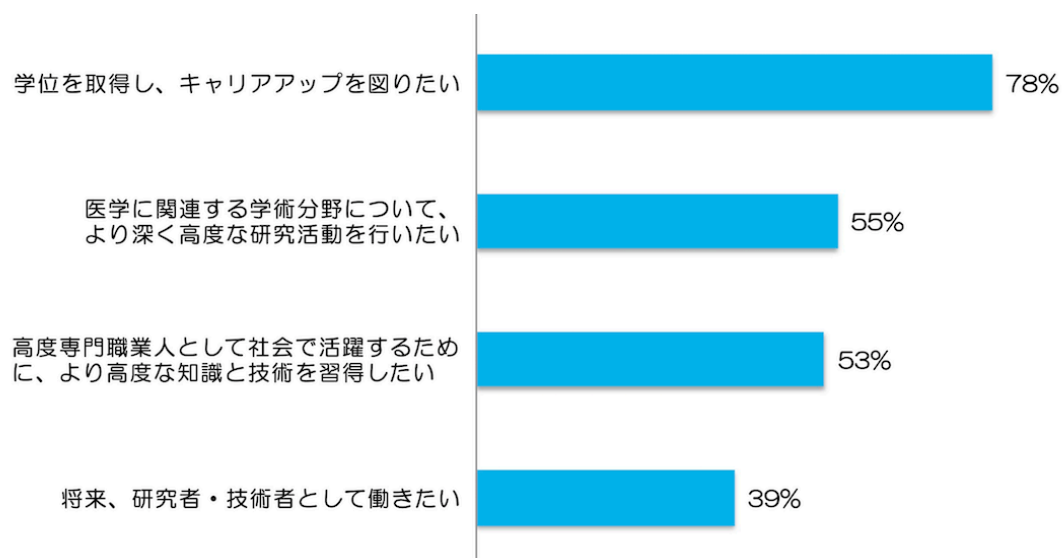
“はい”と答えた 51 人が問 3 の大学院への進学意向について選んだ回答

進学したい	10人
条件が整えば進学したい	35人
将来進学を考えている	6人

次に、その大学院への進学を前向きに考えている人(103 人)に対して、「あなたは関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）が設置された場合、進学したいと思いますか。」（問 5）と質問したところ、“はい”と答えた人は 51 人、“いいえ”と答えた人は 52 人であった（上段の円グラフ）。“はい”と答えた 51 人は、本学医学研究科修士課程への進学を前向きに検討する可能性がある。そのうち、問 3 で大学院へ“進学したい”と答えた人は 10 人、“将来進学を考えている”が 6 人、“条件が整えば進学したい”が 35 人であった（上段の表）。その中で進学志向の強い 10 人は、本課程に進学する可能性が高いと考える。

問6：関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）に進学したい理由を教えてください。（あてはまるものすべてを選んでください。）

（51 人中の回答率）



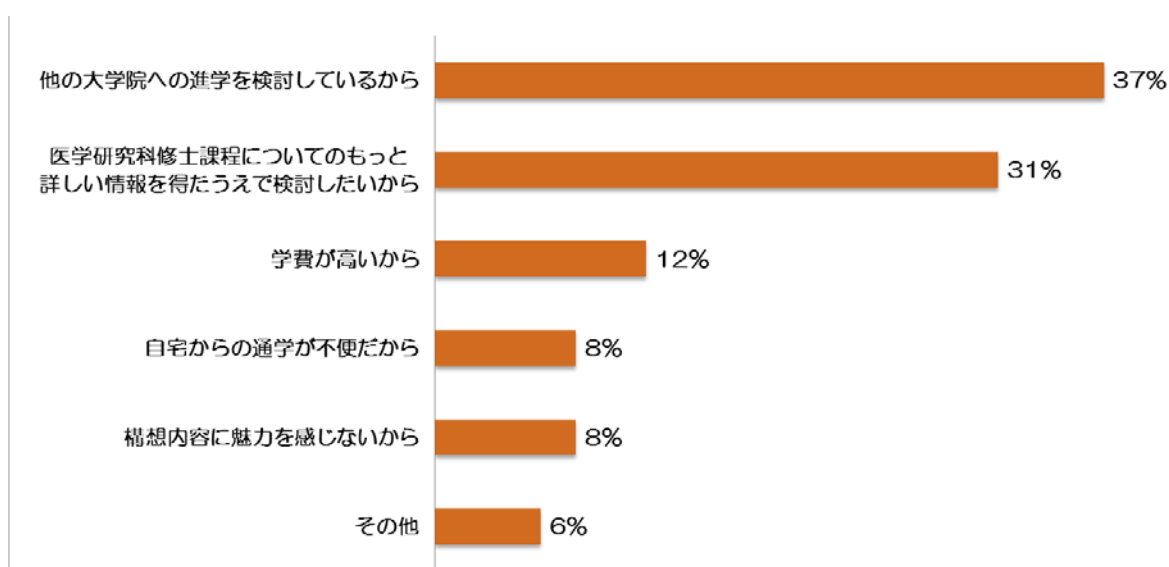
問6では、本学への進学希望者（51人）にその志望理由を質問したところ、高い順に「学位を取得しキャリアアップを図りたい」78%、「医学に関連する学術分野について、より深く高度な研究活動を行いたい」55%、「高度専門職業人として社会で活躍するために、より高度な知識と技術を習得したい」53%、「将来、研究者・技術者として働きたい」39%、となった。

問 7：あなたが関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）の進学に興味・関心がない理由を教えてください。

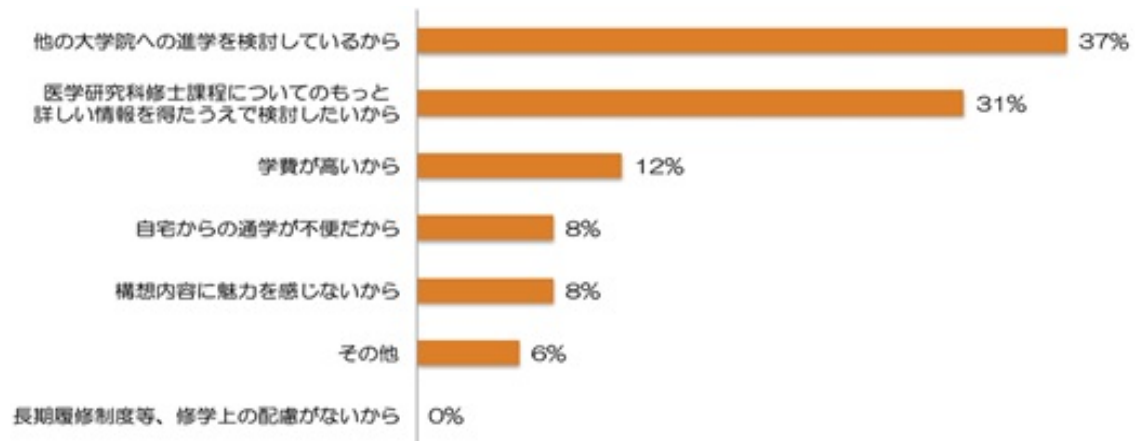
（あてはまるものすべてを選んでください。）

（有効回答数 334 人中の回答率）

問 3 で大学院への進学意向について“わからない”、“進学は考えていない”と答えた人と、問 5 で本学大学院修士課程への進学を希望しなかった人に対して、その理由を質問したところ下図のとおりであった。



その中からさらに、問 5 で本学の大学院修士課程への進学を希望しなかった 52 人の回答を抽出すると、“医学研究科修士課程についてのもっと詳しい情報を得たうえで検討したいから”と回答した者が 31%（16 名）に上った。この結果は、本学医学研究科修士課程の特色やカリキュラムについての広報活動を今後行うことによって志願者がさらに増える可能性があることを示唆している。



関西医科大学 大学院医学研究科修士課程
(*仮称、設置構想中)
入学意向についてのアンケート調査

Webアンケートには、次のような手順でアクセスし、回答してください。

1. 裏面の「関西医科大学 医学研究科修士課程（仮称）」概要をご一読ください。
2. インターネットに接続して、以下より本調査のWebページへアクセスしてください。

(Webアンケート QRコード)



(QRコード以外はこちらからアクセスしてください。)

<https://wss3.5star.jp/survey/login/fxogxr2n>

※本アンケートは、東芝デジタルマーケティングイニシアティブ(株)のWSS3を使用しております。

3. 表示される画面の手順に従って、回答してください。



←Webアンケートページのイメージです。
※実際のものとは異なる場合があります。

4. すべての質問に回答後、「回答完了」ボタンを押してください。

【本調査でお尋ねする主な内容】

本調査の設問は、回答内容により異なりますが、概ね 次のような事項をお尋ねします。
設問項目数は全8問（回答数は最大7問）で、回答に必要な時間の目安は 10 分程です。

- ・回答者の基本情報（希望進路 等）
- ・関西医科大学「医学研究科修士課程（仮称）」への受験・入学希望 等

関西医科大学 大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）

入学意向についてのアンケート調査

関西医科大学は2021年4月に「医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）」（設置場所：大阪府枚方市）の設置を構想しています。本構想では、今後主に医療分野で必要とされるゲノム関連、バイオインフォマティクス、医用工学に精通した人材の養成を目指しています。

この調査を通じて、現在大学等に在学中の学生及び医療分野・バイオ関連分野の企業で就業されている皆様に、率直なご意見をお聞かせいただきたいと考えております。

なお、皆様からいただいた情報は関西医科大学「医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ございません。

アンケート調査へのご協力を、よろしく願いいたします。

問1 あなたの最終学歴を教えてください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- | | | |
|-------------|------------|--------------------------------|
| 1. 四年制大学在学中 | 2. 専門学校在学中 | 3. 四年制大学卒 |
| 4. 専門学校卒 | 5. 大学院修了以上 | 6. その他（ ） |

問2 あなたの出身校の所在地を教えてください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- | | | | | |
|---------|--------|--------------------------------|--------|--------|
| 1. 大阪府 | 2. 兵庫県 | 3. 京都府 | 4. 滋賀県 | 5. 奈良県 |
| 6. 和歌山県 | 7. 三重県 | 8. その他（ ） | | |

問3 あなたは大学院へ進学したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- | | | |
|----------------|---|-----------------|
| 1. 進学したい | } | 問4 問5 に教えてください。 |
| 2. 条件が整えば進学したい | | |
| 3. 将来進学を考えている | | |
| 4. わからない | } | 問7 問8 に教えてください。 |
| 5. 進学は考えていない | | |

問4 （問3で「1～3」と回答した方のみご回答ください。）

大学院を選択する際に重要視する点について教えてください。（あてはまるものすべてに○をしてください。）

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| 1. カリキュラム | 2. 施設・設備 | 3. アクセス（所在地） |
| 4. 指導教員 | 5. 学費 | 6. 社会人受入れ体制 |

⇒（裏面に続く）

問5 (問3で「1～3」と回答した方のみご回答ください。)

あなたは関西医科大学大学院医学研究科修士課程(*仮称、設置構想中)が設置された場合、進学したいと思いますか。

1. はい
2. いいえ ⇒ 問7 に答えてください。

問6 (問5で「1」と回答した方のみご回答ください。)

関西医科大学大学院医学研究科修士課程(*仮称、設置構想中)に進学したい理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○をしてください。)

1. 医学に関連する学術分野について、より深く高度な研究活動を行いたい
2. 高度専門職業人として社会で活躍するために、より高度な知識と技術を習得したい
3. 将来、研究者・技術者として働きたい
4. 学位を取得し、キャリアアップを図りたい

問7 (問3で「4」または「5」、問5で「2」と回答した方のみご回答ください。)

あなたが関西医科大学大学院医学研究科修士課程(*仮称、設置構想中)の進学に興味・関心がない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○をしてください。)

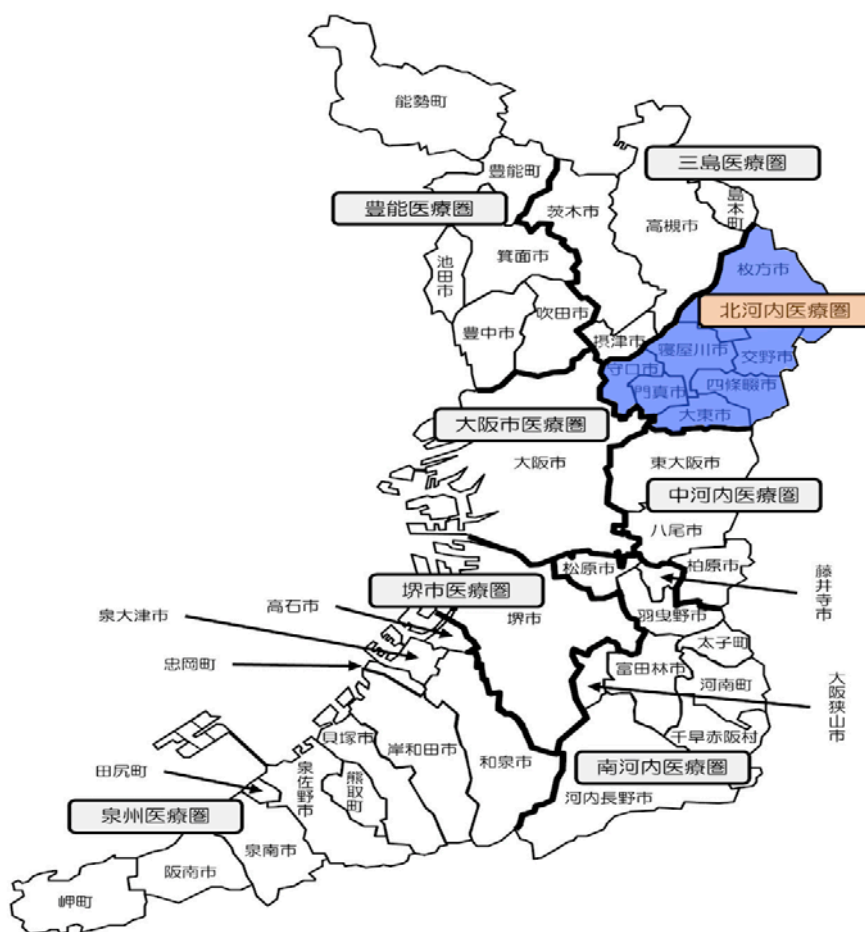
1. 大学院進学を考えていないから
2. 構想内容に魅力を感じないから
3. 他の大学院への進学を検討しているから
4. 自宅からの通学が不便だから
5. 学費が高いから
6. 医学研究科修士課程についてのもっと詳しい情報を得たうえで検討したいから
7. 長期履修制度等、修学上の配慮がないから
8. その他 ()

問8 関西医科大学が設置を予定している大学院医学研究科修士課程(*仮称、設置構想中)

に対して、ご意見、ご要望等があれば自由に記載してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

資料 7 本学近隣地区における特定機能病院



医療圏	医療機関名	所在地
三島	大阪医科大学附属病院	大阪府高槻市大学町2-7
大阪市	大阪市立大学医学部附属病院	大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7
豊能	大阪大学医学部附属病院	大阪府吹田市山田丘2番15号
北河内	関西医科大学附属病院	大阪府枚方市新町2丁目3番1号
南河内	近畿大学医学部附属病院	大阪府大阪狭山市大野東377-2
豊能	国立循環器病研究センター	大阪府吹田市岸部新町6番1号
大阪市	大阪国際がんセンター	大阪府大阪市東成区中道1丁目3-3
京都・乙訓	京都大学医学部附属病院	京都府京都市左京区聖護院川原町54
京都・乙訓	京都府立医科大学附属病院	京都府京都市上京区河原町通広小路の梶井町465
中和	奈良県立医科大学附属病院	奈良県橿原市四条町840番地

資料 8 本学附属医療機関の医療従事者への入学意向アンケート調査の概要

調査の目的： 本調査は、関西医科大学が令和 3 年 4 月設置に向けて構想中の「大学院医学研究科修士課程（仮称）」の学生確保の見通しについて、アンケート調査を用いて測ることを目的とする。

調査期間： 令和元年 9 月～11 月

調査対象： 本学附属医療機関（附属病院・総合医療センター・香里病院・くずは病院・天満橋総合クリニック）の医療従事者を調査対象とした。

調査方法： 医療従事者へのアンケート調査は対象者にアンケート用紙を配布し、回答を同封の返信用封筒にて返送してもらう方法により実施した。

調査内容： ・在學生へのアンケート調査内容と同じである（資料 4 参照）。
・意見・要望（問 8、記述式）の結果の詳細は省略。

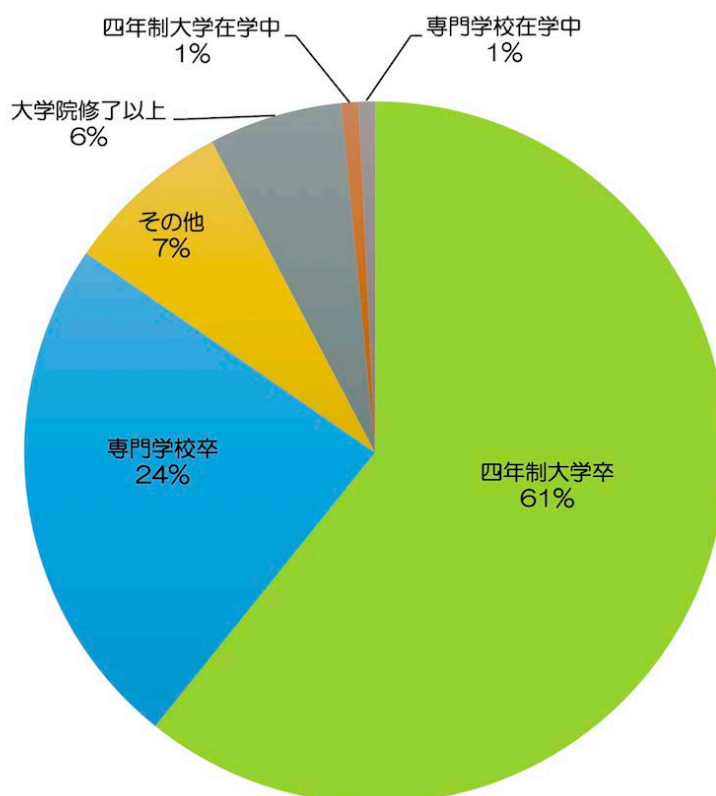
有効回答数： 130 件

*医療従事者向けのアンケート調査内容は、在學生に対するウェブアンケート調査内容と同様である（資料 4 参照）。

資料 9 本学附属医療機関の医療従事者への入学意向アンケート調査の集計結果

問 1 : あなたの最終学歴を教えてください。

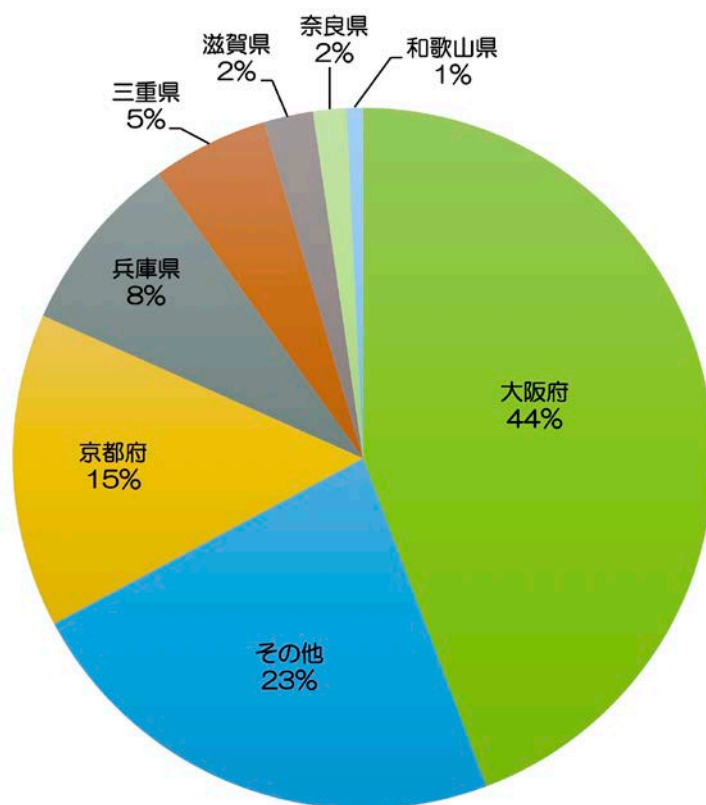
(あてはまるもの 1 つを選んでください。)



まず、問 1 で最終学歴を質問したところ、高い順に“四年制大学卒”61%、“専門学校卒”24%、“その他”7%、“大学院修了以上”6%、“四年制大学在学中”1%、“専門学校在学中”1%、となった。

問 2：あなたの在学中の学校（或いは出身校）の所在地を教えてください。

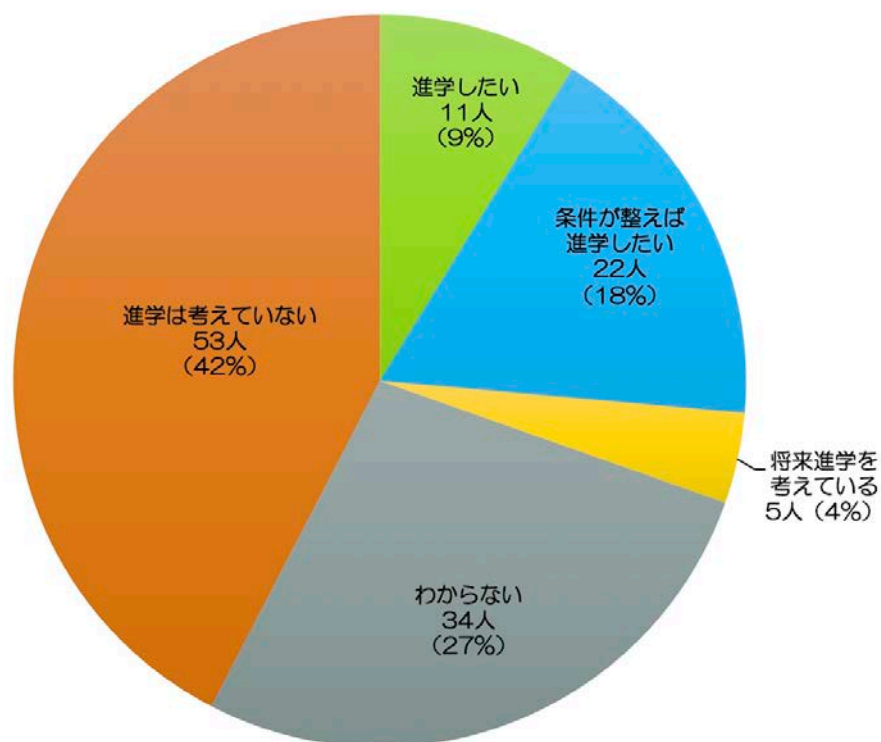
（あてはまるもの1つを選んでください。）



次に、出身校の所在地の質問に対しては、高い順に“大阪府”44%、“その他”23%、“京都府”15%、“兵庫県”8%、“三重県”5%、“滋賀県”2%、“奈良県”2% “和歌山県”1%、となった。

問 3：あなたは大学院へ進学したいと思いますか。

(あてはまるもの1つを選んでください。)

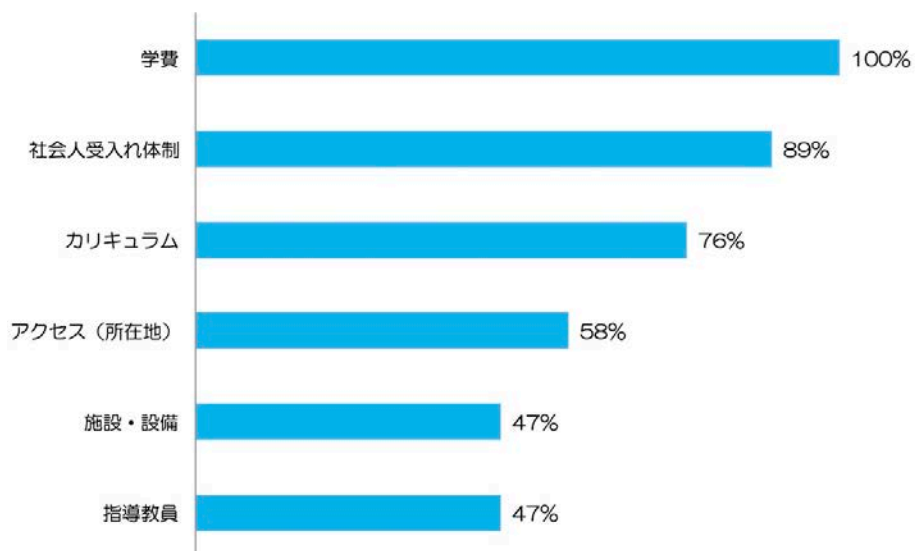


問 3 では大学院への進学の意向について質問したところ、“進学したい”が 11 人 (9%)、
“条件が整えば進学したい”が 22 人 (18%)、“将来進学を考えている”が 5 人 (4%) で、
大学院への進学を前向きに考えている人が合計 38 人 (31%) 存在した。一方、“わから
ない”が 34 人 (27%)、“進学は考えていない”が 53 人 (42%)、となった。社会人で
ある医療従事者の中に、学生の進学希望率 (27%) に並ぶ高い率で大学院への進学を前
向きに考えている人が相当数いることがわかった。

問4：大学院を選択する際に重要視する点について教えてください。

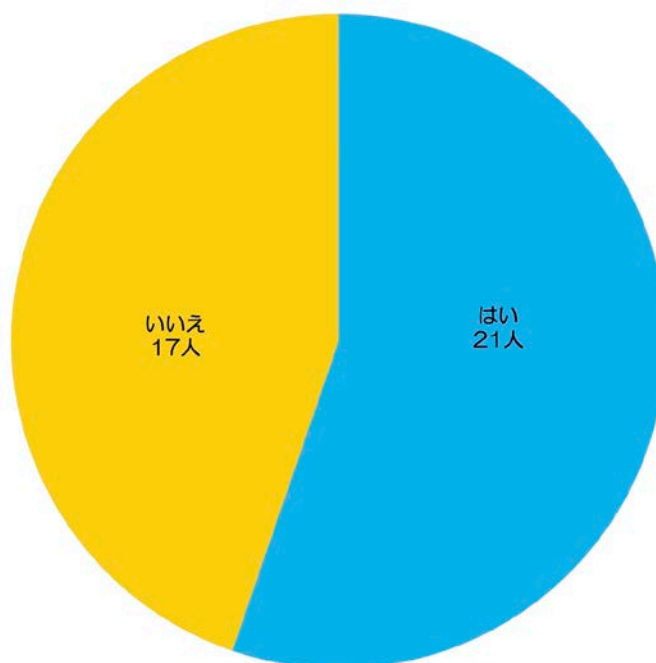
(あてはまるものすべてを選んでください。)

(有効回答数 38 人中の回答率)



問3で大学院への進学を前向きに考えている人(38人)に対して、大学院を選択する際に重要視する点についてと尋ねたところ、高い順に“学費”100%、“社会人受け入れ体制”89%、“カリキュラム”76%、“アクセス”58%、“施設・設備”47%、“指導教員”47%となった。この中で、学生へのアンケート調査結果と大きく異なる点が2つある。一点目は、医療従事者の回答率がほとんどの回答項目において学生のものを上回っていたことである。これは、医療従事者が学生よりも高い目的意識を持って大学院への進学を考えていることを示している。二点目に、医療従事者が“社会人受け入れ体制”を重要視している点である。意見・要望を質問した自由記載欄(問8)においても、仕事と学業の両立ができる配慮を求める意見が最も多く8件に及んだ(回答結果は省略)。

問 5：あなたは関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）が設置された場合、進学したいと思いますか。



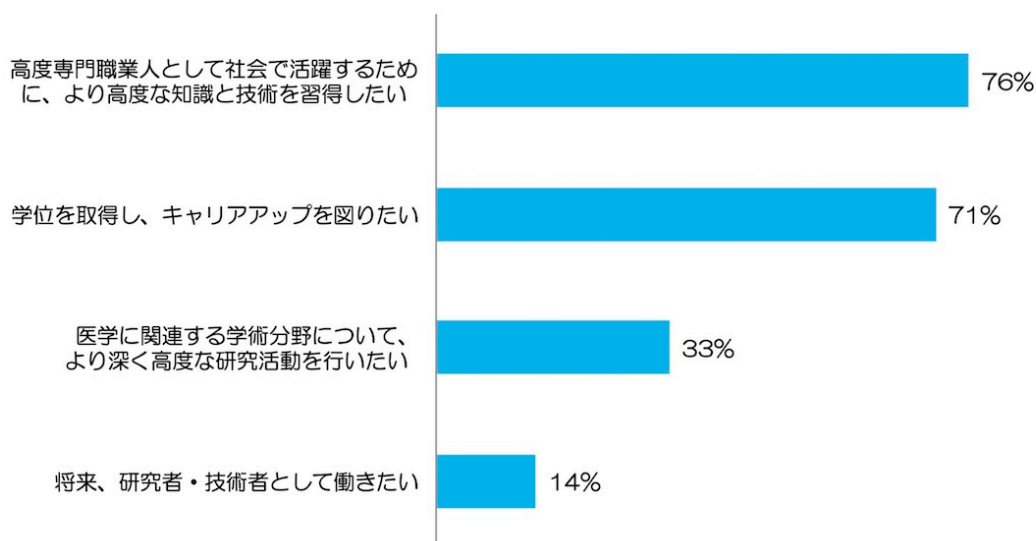
“はい”と答えた 21 人が問 3 の大学院への進学意向について選んだ回答

進学したい	10人
条件が整えば進学したい	10人
将来進学を考えている	1人

次に、その大学院への進学に前向きな人(38人)に対して、本学医学研究科修士課程への入学意向について質問したところ、“はい”21人、“いいえ”17人であった（上段の円グラフ）。“はい”と答えた 21 人は、本学医学研究科修士課程への進学を前向きに検討する可能性がある。そのうち、問 3 で大学院へ“進学したい”と答えた人は 10 人、“将来進学を考えている”が 1 人、“条件が整えば進学したい”が 10 人であった（上段の表）。その進学志向の強い 10 人は、本学医学研究科修士課程に進学する可能性が高いと考える。

問 6：関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）に進学したい理由を教えてください。

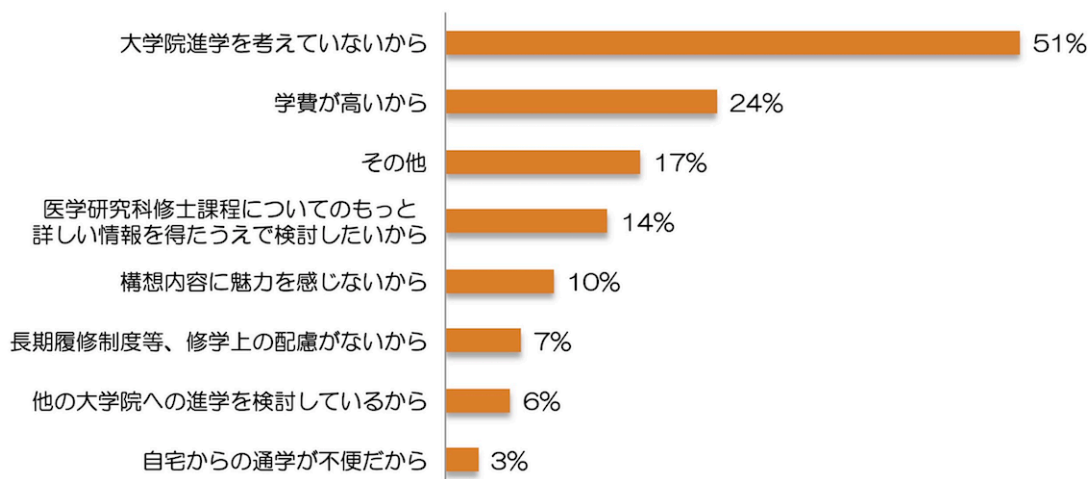
（あてはまるものすべてを選んでください。）



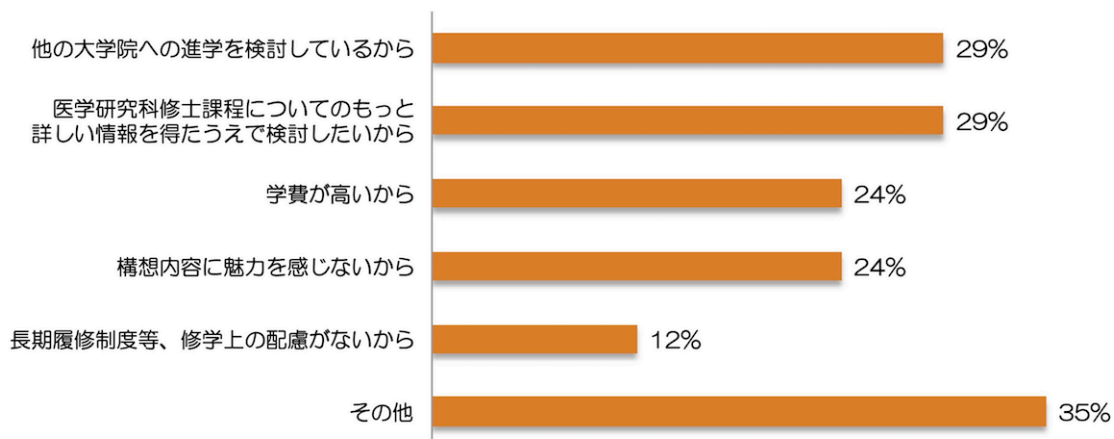
問 6 では、本学への進学希望者（21 人）にその志望理由を質問したところ、高い順に“高度専門職業人として社会で活躍するために、より高度な知識と技術を習得したい”76%、“学位を取得しキャリアアップを図りたい”71%、“医学に関連する学術分野について、より深く高度な研究活動を行いたい”33%、“将来、研究者・技術者として働きたい”14%、となった。在学生へのアンケート結果と異なり、医療従事者は高度専門職業人としての実践的な知識と技術を習得することを強く望んでいることがわかった。本学の大学院修士課程は附属医療機関と連携して実践的な教育を提供するので、大学院への進学を希望している医療従事者の希望を満たすと考える。

問 7：あなたが関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）の進学に興味・関心がない理由を教えてください。

（あてはまるものすべてを選んでください。）



問 3 で大学院への進学意向について“わからない”、“進学は考えていない”と答えた人と、問 5 で本学大学院修士課程への進学を希望しなかった人に対して、その理由を質問した結果は上図のとおりである。



その中からさらに、問 5 で本学の大学院修士課程への進学を希望しなかった 17 人の回答を抽出すると、“医学研究科修士課程についてのもっと詳しい情報を得たうえで検討したいから”と回答した者が 29%（5 名）であった。この結果は、本学医学研究科修士課程の特色やカリキュラムについての広報活動を行うことによって志願者がさらに増える可能性があることを示唆している。

関西医科大学 医学研究科修士課程(仮称)

2021年4月開設に向け、設置構想中

修士課程の概要

開設時期: 2021年4月(予定)
 開設場所: 関西医科大学(大阪府枚方市新町二丁目5番1号)
 修業年限: 2年
 入学定員: 8名を予定(収容定員: 16名を予定)
 取得学位: 修士(医科学)
 教育理念: 関西医科大学大学院医学研究科修士課程は、医学部医学科以外の出身者を対象に、医学に関連する生命科学の基礎並びに先端医療に関する専門教育を行うことで、それぞれの出身領域の知識を医療の場へと有機的に結びつけることのできる、これからの医学研究・医療を支える人材を育成することを理念とします。

養成する人材像

関西医科大学「医学研究科修士課程(仮称)」は、次の資質を兼ね備えた人材を養成します。

1. 「先端医学」領域においては、科学研究・医学研究を下支えする人材や、専門化する医学知識を一般社会に適切に還元できるだけの科学リテラシーを持った人材の養成を目指します。
2. 「ゲノム医学」領域においては、ゲノム情報に関する深い知識を持ち、今後の予防医学ならびにオーダーメイド医療の場で活躍する人材の養成を目指します。
3. 「医用工学」領域においては、少子高齢化が進む中で、AI・ロボット技術を介護現場へと繋げる人材や、医療・介護のニーズとシーズをマッチングできる人材の養成を目指します。

教育研究の特色

理学・農学などの生命科学関連および理工学部の卒業生が、自らのバックグラウンドに加えて医学研究遂行に必要な医学知識を習得することで、今後の多様な医学・医療関連の分野で活躍できる人材あるいは高度な医療知識を広く社会に還元できる人材となることを目指します。

<共通科目> 基礎的な医学知識を習得します
 <三つの領域> 三つの領域に分かれて専門的な学修に取り組みます
 再生医学などの新たな医学研究領域を学ぶ「先端医学」
 ゲノム情報や医療情報を融合させた情報科学を学ぶ「ゲノム医学」
 健康医学や工学的アプローチによる新たな医療を学ぶ「医用工学」

修了後の進路

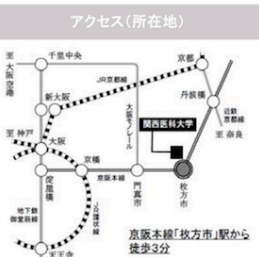
関西医科大学「医学研究科修士課程(仮称)」の修了生は、以下等での活躍が期待されます。

- ・医療施設(病院等)の検査、解析部門
- ・一般企業のバイオ関係部門、医療関係部門
- ・製薬会社等
- ・研究機関
- ・大学院博士後期課程への進学

学費(他大学を含む)

大学名(研究科名)所在地	入学金	授業料等	初年次納付金
関西医科大学 医学研究科(仮称) (大阪府枚方市新町二丁目5番1号)	200,000	400,000	600,000
京都大学 医学研究科 (京都市左京区吉田近衛町)	282,000	535,800	817,800
大阪大学 医学研究科 (大阪府吹田市山田丘2丁目2)	282,000	535,800	817,800
京都府立医科大学 医学研究科 (京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地)	282,000	535,800	817,800
大阪市立大学 医学研究科 (大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号)	382,000	535,800	917,800
(参考) 医学研究科修士課程を設置する全国10私立大学 【修士(医科学)学位を授与する】の平均値	251,400	785,160	1,036,560

* 関西医科大学医学研究科(仮称)の学費は予定のものです。
 * 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(2019年9月現在)
 * いずれも諸会費等を含みません。また別途、費用経費が必要な場合があります。
 * 大阪市立大学医学研究科の入学金は「大阪市民及びその子」以外の入学者



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

関西医科大学 大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）

入学意向についてのアンケート調査

関西医科大学は2021年4月に「医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）」（設置場所：大阪府枚方市）の設置を構想しています。本構想では、今後主に医療分野で必要とされるゲノム関連、バイオインフォマティクス、医用工学に精通した人材の養成を目指しています。

この調査を通じて、現在大学等に在学中の学生及び医療分野・バイオ関連分野の企業で就業されている皆様に、率直なご意見をお聞かせいただきたいと考えております。

なお、皆様からいただいた情報は関西医科大学「医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ございません。

アンケート調査へのご協力を、よろしく願いいたします。

問1 あなたの最終学歴を教えてください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- | | | |
|-------------|------------|--------------------------------|
| 1. 四年制大学在学中 | 2. 専門学校在学中 | 3. 四年制大学卒 |
| 4. 専門学校卒 | 5. 大学院修了以上 | 6. その他（ ） |

問2 あなたの出身校の所在地を教えてください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- | | | | | |
|---------|--------|--------------------------------|--------|--------|
| 1. 大阪府 | 2. 兵庫県 | 3. 京都府 | 4. 滋賀県 | 5. 奈良県 |
| 6. 和歌山県 | 7. 三重県 | 8. その他（ ） | | |

問3 あなたは大学院へ進学したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- | | | |
|----------------|---|-----------------|
| 1. 進学したい | } | 問4 問5 に教えてください。 |
| 2. 条件が整えば進学したい | | |
| 3. 将来進学を考えている | | |
| 4. わからない | } | 問7 問8 に教えてください。 |
| 5. 進学は考えていない | | |

問4 （問3で「1～3」と回答した方のみご回答ください。）

大学院を選択する際に重要視する点について教えてください。（あてはまるものすべてに○をしてください。）

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| 1. カリキュラム | 2. 施設・設備 | 3. アクセス（所在地） |
| 4. 指導教員 | 5. 学費 | 6. 社会人受入れ体制 |

⇒（裏面に続く）

問5 (問3で「1～3」と回答した方のみご回答ください。)

あなたは関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）が設置された場合、進学したいと思いますか。

1. はい
2. いいえ ⇒ 問7 に答えてください。

問6 (問5で「1」と回答した方のみご回答ください。)

関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）に進学したい理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○をしてください。）

1. 医学に関連する学術分野について、より深く高度な研究活動を行いたい
2. 高度専門職業人として社会で活躍するために、より高度な知識と技術を習得したい
3. 将来、研究者・技術者として働きたい
4. 学位を取得し、キャリアアップを図りたい

問7 (問3で「4」または「5」、問5で「2」と回答した方のみご回答ください。)

あなたが関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）の進学に興味・関心がない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○をしてください。)

1. 大学院進学を考えていないから
2. 構想内容に魅力を感じないから
3. 他の大学院への進学を検討しているから
4. 自宅からの通学が不便だから
5. 学費が高いから
6. 医学研究科修士課程についてのもっと詳しい情報を得たうえで検討したいから
7. 長期履修制度等、修学上の配慮がないから
8. その他 ()

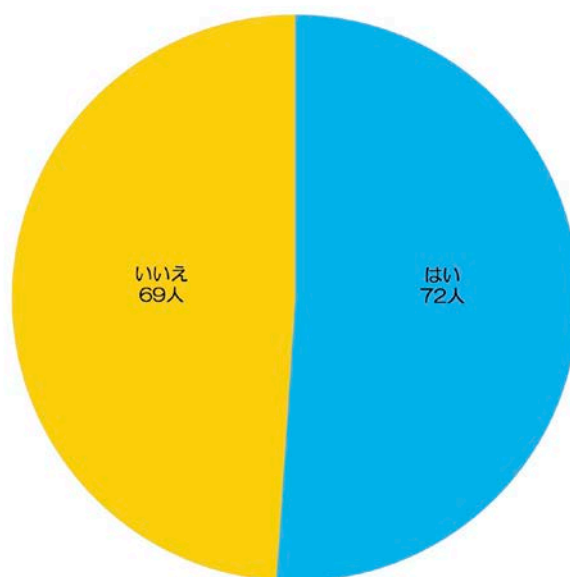
問8 関西医科大学が設置を予定している大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）に対して、ご意見、ご要望等があれば自由に記載してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

資料 11 在学生と医療従事者のアンケート調査〈問 5〉の合算結果

回答者：問 3 で大学院への進学を前向きに希望した在学生（103 人）と本学附属医療機関の医療従事者（38 人）の計 141 人

問 5：あなたは関西医科大学大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）が設置された場合、進学したいと思いますか。



“はい”と答えた 72 人が問 3（大学院への進学意向）で選んだ回答

進学したい	20人
条件が整えば進学したい	45人
将来進学を考えている	7人

大学院への進学に前向きな在学生と本学医療機関の医療従事者 141 人に対して、本学医学研究科修士課程への入学意向について質問した回答は、“はい”計 72 人、“いいえ”計 69 人であった（上段の円グラフ）。“はい”と答えた 72 人は、本学医学研究科修士課程への進学を前向きに検討する可能性がある。そのうち、問 3 で大学院へ“進学したい”と答えた人は計 20 人、“条件が整えば進学したい”計 45 人、“将来進学を考えている”計 7 人であった（上段の表）。“進学したい”と答えた人 20 人は、進学志向が強く、本学医学研究科修士課程に進学する可能性が高いと考える。

資料 12 他大学の医学系修士課程の学生納付金

近畿圏の国公立大学医学系修士課程の学生納付金（2020 年度）

所在地	大学名	研究科等名	専攻	入学料(円)	授業料(円)
大阪府	大阪大学	医学系研究科	医科学専攻	282,000	535,800
大阪府	大阪市立大学	医学研究科	医科学専攻	382,000	535,800
京都府	京都大学	医学研究科	医科学専攻	282,000	535,800
京都府	京都府立医科大学	医学研究科	医科学専攻	282,000	535,800
奈良県	奈良県立医科大学	医学研究科	医科学専攻	282,000	535,800
和歌山県	和歌山県立医科大学	医学研究科	医科学専攻	282,000	535,800
兵庫県	神戸大学	医学研究科	バイオメディカルサイエンス専攻	282,000	535,800
			平均値	296,286	535,800

全国私立大学の医学系修士課程の学生納付金（2020 年度）

所在地	大学名	研究科等名	専攻名	入学料(円)	授業料(円)	施設整備費(円)	その他(円)
岩手県	岩手医科大学	医学研究科	医科学専攻	0	375,000	300,000	
栃木県	自治医科大学	医学研究科	医科学専攻	282,000	585,800		
埼玉県	埼玉医科大学	医学研究科	医科学専攻	300,000	700,000	200,000	
東京都	慶應義塾大学	医学研究科	医科学専攻	60,000	1,320,000		
東京都	順天堂大学	医学研究科	医科学専攻	200,000	400,000	150,000	
東京都	東京医科大学	医学研究科	医科学専攻	100,000	400,000		
東京都	東邦大学	医学研究科	医科学専攻	100,000	500,000	100,000	
神奈川県	北里大学	医療系研究科	医科学専攻	200,000	685,000	100,000	
神奈川県	東海大学	医学研究科	医科学専攻	300,000	735,000	200,000	(教育運営費) 211,000
福岡県	久留米大学	医学研究科	医科学専攻	240,000	480,000		(教育充実費) 60,000 (実験実習費) 120,000
			平均額	178,200	618,080		

近畿圏の国公立大学医学系修士課程の入学料の平均額は 296,286 円、授業料の平均額は 535,800 円、全国の私立大学の医学系修士課程の入学料の平均額は 178,200 円、授業料の平均額は 618,080 円である。これは、本学医学研究科修士課程が予定している入学料 200,000 円、授業料 400,000 円とほぼ同じ水準である。

資料 13 人材需要アンケート調査の概要

調査の目的：本調査は、関西医科大学が令和 3 年 4 月設置に向けて構想中の「大学院医学研究科修士課程（仮称）」の修了生の人材需要の見通しについて、アンケート調査を用いて測ることを目的とする。

調査期間： 令和元年 11 月～12 月

調査対象： 大阪府下の病床 400 床以上の規模を持つ病院（144 院）、本学附属医療機関（5 院）、関西に本社のある製薬協会に属する製薬企業（34 社）、関西経済連合に属するバイオ産業や医療機器メーカー（27 社）、それ以外の地域のバイオ産業や医療機器メーカー（62 社）を調査対象とした。

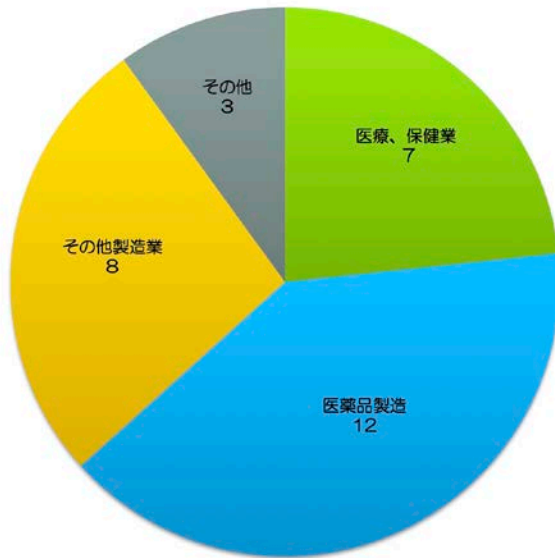
調査方法： アンケート調査は対象の機関にアンケート用紙を郵送し、回答を同封の返信用封筒にて返送してもらう方法により実施した。

調査内容： アンケート項目は全 6 問で、選択肢式 5 問、記述式 1 問とした。質問内容は、業種、所在地、採用意向、採用に重視する点、大学院への進学を奨励の有無、本学の修士課程に対する意見等である。
・意見等（問 6）の回答結果の詳細は省略する。

有効回答数：30 件

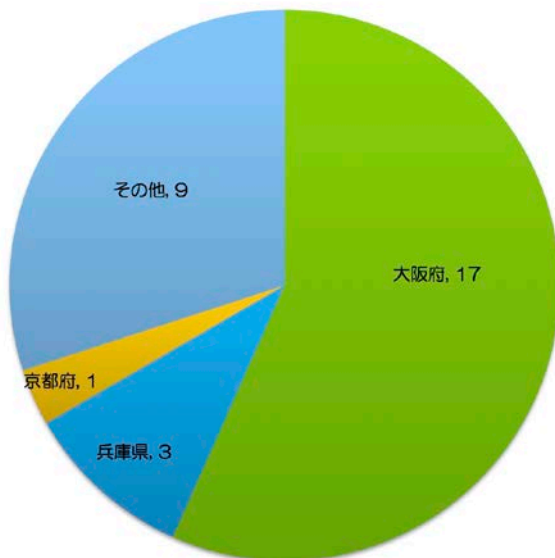
資料 14 人材需要アンケート調査の集計結果

問 1：貴施設の業種をお答えください。



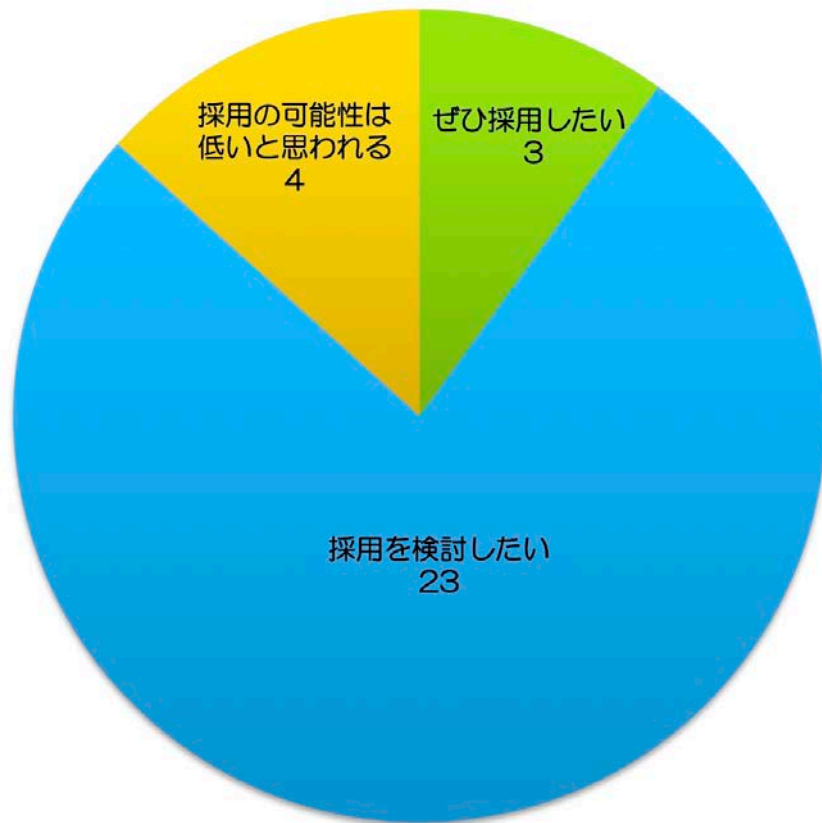
計 30 件の機関から回答を得た。その機関の業種は医療・保健業 7 件、医薬品製造 12 件、その他の製造業 8 件、その他 3 件であった。

問 2：貴施設の所在地を教えてください。



回答した機関の所在地は、大阪府 17 件、兵庫県 3 件、京都府 1 件、その他 9 件であった。

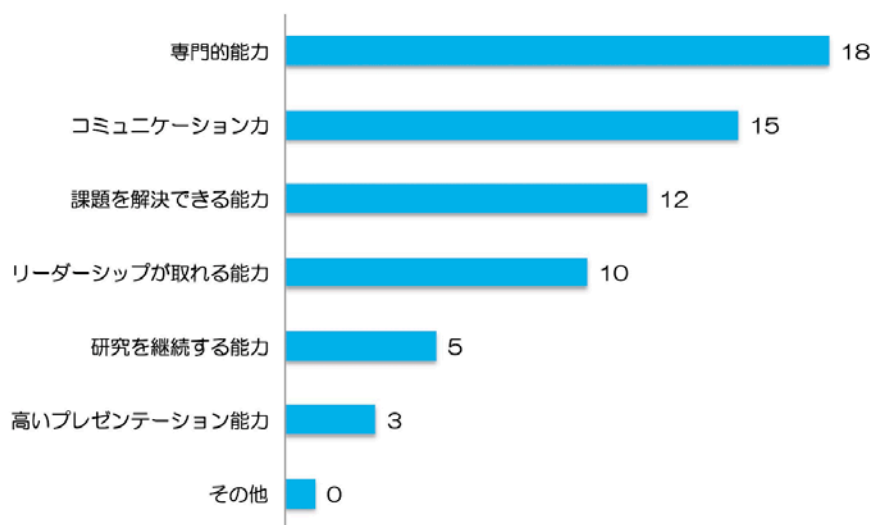
問 3 : 本学が設置を予定している大学院医学研究科修士課程修了生の採用に関して、どのようにお考えですか。



本学医学研究科修士課程の修了生の採用意向について尋ねたところ、「ぜひ採用したい」3件、「採用を検討したい」23件、「採用の可能性は低いと思われる」4件となった。

従って、計 26 の機関が、本学医学研究科修士課程の修了生を採用する可能性を示した。

問 4：貴施設において、大学院（修士課程）修了生を採用する場合、重要視する点を教えてください。



大学院修士課程の修了生の採用の際に重要視する点を尋ねたところ、回答数が多い順に「専門的能力」18件、「コミュニケーション能力」15件、「課題を解決できる能力」12件、「リーダーシップが取れる能力」10件、「研究を継続する能力」5件、「高いプレゼンテーション能力」3件、となった。

問 5：貴施設に所属されている職員のキャリアアップの一つとして、大学院への進学（社会人入学）を推奨されていますか。



キャリアアップを推奨しているかを聞いたところ、「推奨している」10件、「進学希望者があれば検討する」12件、「推奨していない」7件であった。

問4 貴施設において、大学院（修士課程）修了生を採用する場合、重要視する点を教えてください

1. 専門的能力
2. コミュニケーション力
3. 高いプレゼンテーション能力
4. 課題を解決できる能力
5. リーダーシップが取れる能力
6. 研究を継続する能力
7. その他（ ）

問5 貴施設に所属されている職員のキャリアアップの一つとして、大学院への進学（社会人入学）を推奨されていますか。

1. 推奨している
2. 推奨していない
3. 進学希望者があれば検討する

問6 関西医科大学が設置を予定している大学院医学研究科修士課程（*仮称、設置構想中）に対して、ご意見、ご要望等があれば自由に記載してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。